



令和 5 年 11 月 14 日 (火) 例会 (第2889回) 報告 (晴) No.2717

出席率 …… 28/42 66.67% 第2887回補正出席率 …… 42/44 95.45%

欠席者 角田、川田、喜多村、小板、佐藤、友森、中村、浜田(一)、北國、堀田、松井、松本(勝)、三輪、村山
メイクアップ (5RC野球納会) 岡空 (親睦委員会) 12名
(ロータリー研究会) 庄司
出席免除 足立、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 赫 太郎 会長

今日は、弊社が原料として使用している蟹(の殻)についてお話します。我々が境港に工場を設立した1988年当時には蟹の水揚げが15,000トン以上あり、加えて北朝鮮やロシアからの蟹も境港に来ていましたが、2022年には4,600トンにまで激減しています。最近海水温上昇の影響で、アメリカのベリング海80億匹の蟹が居なくなる報道など、蟹の先行きは明るくありません。日本海までこの影響が来ない事と、我々の主原料のベニズワイ蟹の数量が回復する事を合わせて願っています。

◆幹事報告 浜田貴稔 幹事

◎榊原GE事務所より「次期地区ポリオプラス小委員会 副委員長推薦依頼」◎本日、書面にて臨時理事会 ◎次週(11/21)は休会(定款7条)

◆定例理事会報告 浜田貴稔 幹事

【議題】①夜話集会決算報告[審議]→承認 ②第28回アダプト&ロータリーの森草刈り清掃事業(案)[審議]→承認 ③忘年家族会 事業(案)[審議]→承認 ④合同IMについて(米子南RCより提案)[審議]→承認<4/20(土)米子市文化ホール、登録料:9,000円…第2Gは全員登録で協力> ⑤Gノミニー推薦について[審議]→今年度、当クラブからは推薦なし **【その他】**①コンサート・ポリオ募金報告…チケット販売+会場募金=計63,055円をポリオプラスへ寄付。②一中校区CSガイドブックの増刷について…ロゴマークと青少年プログラムの紹介は継続掲載を了承。「地区補助金活用事業」の文言は削除。クラブとしての費用負担はなし。

地区大会表彰 長寿賞 (満90歳)

おめでとうございます! 藤瀬秀親 会員



《新入会員バッジ授与式》

新入会員 吾郷 悟(あごう さとる)さん
事業所 (株)山陰合同銀行 境港支店
役職 支店長
生年月日 昭和44年8月2日(54歳・酉年)



11月誕生日祝い

29日 村山尚史 会員

◆委員会報告

— スマイルBOX —

◎結婚祝 木村 ◎藤瀬先生、地区大会長寿賞おめでとうございます。瀬戸 ◎久し振り出席 藤瀬 ◎吾郷さん、入会おめでとうございます。よろしくお祈りします。 赫、浜田(貴)、山崎、上田 ◎卓話します 松本(正) ◎松本さんの卓話、楽しみにしています。 岡空、小林、酒井(博)、定秀、庄司、高瀬、中田、平岡 ◎三中バスケット部が、クラブチームを倒して県1位になりました!! 鷺澤 ◎スマイルに協力 黒田

◎社会奉仕委員会…谷田真基 委員長

12/3(日)に今年度第1回の草刈りを行います。今回は、松林の2-a区画とロータリーの森の2ヶ所です。一人でも多くの皆様のご協力をよろしくお祈りします。

◎親睦委員会…鷺澤美紀 委員長

今年の忘年家族会はコロナ前の状態に戻し、賑やかに行うことを考えています。案内ハガキが届いていると思いますので、お早めに出欠回答をお願いします。親睦委員会の皆さんは、例会後に内容や役割の検討を行いますので、少し残って下さい。

◎ゴルフ同好会…岡空晴夫 幹事

12/10(日)にコンペと忘年会を行います。両方はもちろん、片方だけの参加も歓迎。皆さん奮ってご参加ください。

◎「ロータリーの友11月号」紹介…小藤善之 雑誌・広報委員

◆12月行事予定(疾病予防と治療月間)

- 12/1(金) 5RC会長・幹事会(18:30~ 美さご)
- 5(火) 例会/理事会
- 12(火) 年次総会(予定)
- 19(火) 忘年家族会(18:30~ ANAクラウン米子)
- 26(火) 休会(定款7条)

— プログラム — 「将棋の話」~藤井聡太はどのくらい強いか—

松本 正 会員

プロ棋士の藤井聡太さん(21歳)は8大タイトルすべてを獲得しました。現在のタイトル獲得回数は18回で7位ですが、今後、どこまでこの数字を伸ばすか楽しみです。1位は羽生善治さん(53歳)の99回です。仮に、藤井さんが10年間タイトルを守り続ければ31歳で98回になります。



現在、タイトル戦は8つあり新聞社が主催しています。新聞社は主催する棋戦の棋譜を自社の新聞に載せます。昔(昭和20年頃)は、名人戦、王将戦、九段戦の3つでした。その後、棋士の人数も増え(現在約170名)、タイトル戦も8つに増えました。

棋戦の中でも名人戦は別格です。プロになれば順位戦(リーグ戦)のC級2組に入りますが、C級1組、B級2組、B級1組、A級と昇り、A級順位戦の優勝者が名人への挑戦権を得ることになります。プロになっても、名人へ挑戦するには最低5年かかります。他の棋戦と違うところです。

IT技術の進化により、将棋のレベルもあがりました。20年くらい前から将棋ソフトが人間よりも強くなり、人間が逆にAIを研究するようになりました。藤井さんもAIを研究しました。

藤井さんは強さが違います。タイトルを失ったことがありません。また、タイトル戦で最終局までもつれたことは18回のうち1回だけです。ライバルがいない状態です。強さの理由は、持って生まれた才能、本人の努力、負けず嫌いの性格、AIの研究をいち早く取り入れたことなどでしょう。しばらくは勝ち続けると思います。

今回(11月28日)のプログラム

「開業の経緯とそのお客様について」

包丁研ぎのお店 タルイハモノ、 樽井勇介氏

次回(12月5日)のプログラム

「憲法9条にまつわる法的雑学」

中村 栄治 会員